



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社 シャルレ

上場取引所 東

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,163	△6.4	441	△28.4	449	△29.3	291	8.9
30年3月期第3四半期	14,070	△2.4	616	△17.8	635	△17.6	267	△25.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	18.39	—
30年3月期第3四半期	16.64	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	22,502	19,536	86.8	1,233.70
30年3月期	22,032	19,492	88.5	1,230.89

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 19,536百万円 30年3月期 19,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,515	0.0	200	△62.8	210	△62.4	110	△66.1	6.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	16,086,250 株	30年3月期	16,086,250 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	250,191 株	30年3月期	250,101 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	15,836,090 株	30年3月期3Q	16,067,102 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外経済においては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や不確実性、金融資本市場の変動の影響等が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、個人消費は持ち直しつつも、節約志向や生活防衛意識は依然と根強く、新規参入企業による企業間競争の激化等、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、当社は、化粧品類や健康食品類を主とした高付加価値商品の売上拡大による収益率の向上や新規事業の早期の開拓及び拡大に向けて積極的に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、衣料品類の肌着・ショーツについては、前年度に発売した「軽快ウォークボトム」を中心とした定番商品の販売状況が低調に推移したため、売上高は前年を大きく下回りました。アウター類については、「シャルレドレス」より、シーズンに合わせたカットソーやパンツ等を発売し、販売状況は低調であったものの、ルームベストやリラクシングウェア等、その他数量限定商品の発売により、売上高は前年を僅かに上回りました。生活関連商品については、上質な眠りをサポートする「シャルレ ウエルネスピロー」をリニューアル発売し、販売状況は好調に推移しましたが、前年と比較して発売した新商品の規模が小さかったことにより、生活関連商品全体の売上高は前年を下回りました。以上の結果、衣料品類全体の売上高は99億94百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

化粧品類では、主力商品である「エタリテ」スキンケアシリーズにおいて、エイジングケアの観点から奇跡の木と呼ばれるモリンガの葉から抽出したモリンガエキスを配合し、大幅なリニューアルを行うとともに、プロモーション用のセット商品を発売し、売上高は前年を上回る推移となりましたが、その他の既存定番商品が低調に推移したことにより、化粧品類全体の売上高は前年を僅かに上回るにとどまり、20億5百万円(同1.8%増)となりました。

健康食品類では、ハトムギを用いた健康食品である「つやっとハトムギ」を発売しましたが、既存定番商品の販売状況が低調に推移したことに加え、「定期お届け便」の利用者数が伸び悩んだことにより、健康食品類全体の売上高は前年を下回り、7億79百万円(同5.4%減)となりました。

営業施策面におきましては、前事業年度に引き続き、ビジネスメンバーの活動の活性化を目的とした「シャルレスマイルプロジェクト2020」を掲げ、3つの施策を実施しました。4月より新規メイト会員の増加を目的とした「シャルレスマイルキャンペーン2018(4月～6月)」を実施し、当期間中における新規メイト会員数は前年を上回りました。9月よりビジネスメンバーの活動意欲を喚起させる「チャレンジコンテスト2018(9月～11月)」を実施しましたが、期間売上高は前年を下回りました。12月より社会貢献活動として「元気な森づくり運動(12月～3月)」を実施しており、シャルレウエルネス商品の売上の一部を森林保全の活動に役立ててまいります。

販売促進の取り組みとしては、化粧品類や健康食品類の売上拡大に向けて、ビジネスメンバーや営業社員等を対象に教育の強化に取り組んでまいりました。

通信販売の「シャルレダイレクトサービス」におきましては、新規会員の獲得及び既存会員のリピート率の向上を目的とした販促キャンペーン等を実施しました。

新規事業におきましては、高齢者住宅の紹介事業である「カーネーション」のテスト運営を継続しております。また、新たな事業の探索・開拓におきましても、積極的に推進しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は131億63百万円(同6.4%減)となりました。利益面につきましては、売上高の減少や在庫ロスの増加により、営業利益は4億41百万円(同28.4%減)、経常利益は4億49百万円(同29.3%減)、四半期純利益は税金費用の減少により2億91百万円(同8.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の増加7億31百万円、商品の減少3億34百万円、リース資産の増加2億66百万円、投資有価証券の減少97百万円等により、前事業年度末に比べ4億69百万円増加して225億2百万円となりました。

負債は、買掛金の増加96百万円、賞与引当金の減少96百万円、リース債務の増加2億66百万円等により、前事業年度末に比べ4億25百万円増加して29億65百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当2億37百万円、四半期純利益2億91百万円等により、前事業年度末に比べ44百万円増加し、195億36百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末に比べ、1.7ポイント低下し86.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月2日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,367	13,099
売掛金	86	112
有価証券	-	72
商品	3,810	3,476
貯蔵品	46	22
その他	203	128
貸倒引当金	△11	△18
流動資産合計	16,504	16,894
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,110	1,056
土地	907	907
その他(純額)	480	779
有形固定資産合計	2,498	2,744
無形固定資産		
ソフトウェア	837	797
その他	13	11
無形固定資産合計	851	809
投資その他の資産		
投資有価証券	520	423
前払年金費用	894	939
繰延税金資産	462	448
その他	306	248
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	2,178	2,054
固定資産合計	5,528	5,607
資産合計	22,032	22,502

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	683	780
未払金	797	848
未払法人税等	70	75
賞与引当金	222	125
その他	154	298
流動負債合計	1,927	2,128
固定負債		
売上割戻引当金	189	188
退職給付引当金	307	287
その他	115	359
固定負債合計	611	836
負債合計	2,539	2,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	11,144	11,198
自己株式	△131	△131
株主資本合計	19,511	19,565
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18	△28
評価・換算差額等合計	△18	△28
純資産合計	19,492	19,536
負債純資産合計	22,032	22,502

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	14,070	13,163
売上原価	7,323	7,005
売上総利益	6,747	6,158
販売費及び一般管理費	6,131	5,716
営業利益	616	441
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	9	-
雑収入	10	10
営業外収益合計	20	10
営業外費用		
支払利息	0	1
雑損失	1	1
営業外費用合計	2	2
経常利益	635	449
特別利益		
固定資産売却益	1	-
投資有価証券売却益	-	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除却損	0	0
店舗閉鎖損失	65	-
特別損失合計	65	0
税引前四半期純利益	571	451
法人税、住民税及び事業税	290	146
法人税等調整額	14	14
法人税等合計	304	160
四半期純利益	267	291

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。